



連続シンポジウム

巨大災害から生命と国土を護る — 二十四学会からの発信 —
 第四回 首都直下・東海・東南海・南海等の巨大地震に今どう備えるか

二十四学会が集結して、東日本大震災に対する反省と今後の抜本的な見直しに際し、学会の壁を越えて、本質的な議論を展開する連続シンポジウムを行います

日時：平成二十四年五月十日（木）午後二時から午後五時四十五分 入場無料

会場：日本学術会議講堂（東京都港区六本木七丁目二十二番地三十四号）

（東京メトロ千代田線乃木坂駅出口5）

主催：日本学術会議 土木工学・建築学委員会、東日本大震災の総合対応に関する学協会連絡会

プログラム

14：00-14：10

- 司会 目黒 公郎（東京大学教授、日本学術会議連携会員）
- 挨拶 大西 隆（日本学術会議会長、東京大学教授）
- 趣旨 和田 章（日本学術会議会員、土木工学・建築学委員会委員長、東京工業大学名誉教授）

共同声明について

依田 照彦（日本学術会議会員、早稲田大学教授）

14：10-16：15

第一部 基調講演

- 千木良 雅弘（日本学術会議連携会員、京都大学防災研究所教授、日本応用地質学会会長）
- 田中 哮義（京都大学名誉教授、日本火災学会副会長）
- 田中 宏明（京都大学大学院教授、環境システム計測制御学会会長）
- 重川 希志依（富士常葉大学教授、地域安全学会会長）
- 山本 保博（東京臨海病院病院長、日本集団災害医学学会代表理事）

16：25-17：45

第二部 パネルディスカッション

コーディネータ

米田 雅子（慶應義塾大学特任教授、日本学術会議連携会員）

パネリスト

基調講演者5名により行う

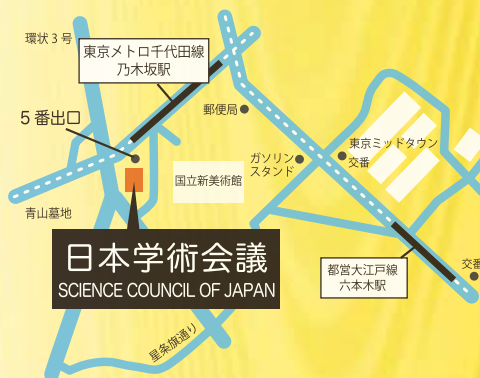
連続シンポジウム（予告）

- 平成 24 年 6 月 21 日（木）開催 第 5 回
「大震災を契機に地域・まちづくりを考える」
- 平成 24 年 7 月 24 日（火）開催 第 6 回
「原発事故からエネルギー政策をどう建て直すか」
- 平成 24 年 8 月 8 日（水）開催 第 7 回
「大震災を契機に国土づくりを考える」
- 平成 24 年 11 月 総括フォーラム開催予定

東日本大震災の総合対応に関する学協会連絡会

（議長 和田章）

東日本大震災を受け、日本の国土・社会・産業基盤に関わる二十四の学会が集まり、平成二十三年五月に結成。従来の専門分化した学会のあり方を見直し、学会間の本質的な議論と交流を深めることにより、今後の我が国の学術の方向と基本政策を提言することをめざす。



- 環境システム計測制御学会、空気調和・衛生工学会、
- こども環境学会、砂防学会、地域安全学会、
- 地理情報システム学会、地盤工学会、土木学会、
- 日本応用地質学会、日本火災学会、日本活断層学会、
- 日本機械学会、日本計画行政学会、日本建築学会、
- 日本原子力学会、日本コンクリート工学会、
- 日本災害情報学会、日本自然災害学会、
- 日本集団災害医学学会、日本森林学会、日本地震学会、
- 日本地震工学会、日本地すべり学会、日本造園学会、
- 日本地域経済学会、日本都市計画学会、日本水環境学会、
- 農業農村工学会、廃棄物資源循環学会

（現在二十九学会）